

TX381Hにて
・引込不良
・S2エラー

等が発生する。

機器写真



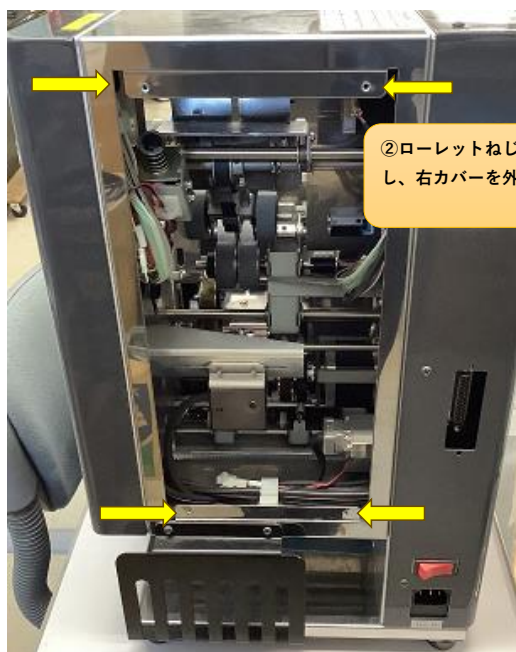
手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) ホッパー部 各ローラーの清掃をする

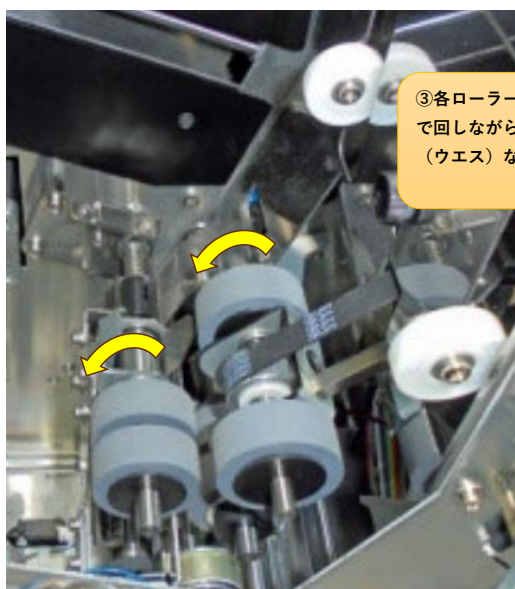
引込・搬送ローラーを手で回しながらウエス(アルコールを染み込ませたもの≒OA機器清掃用アルコールウェットティッシュで代用可)で清掃する。



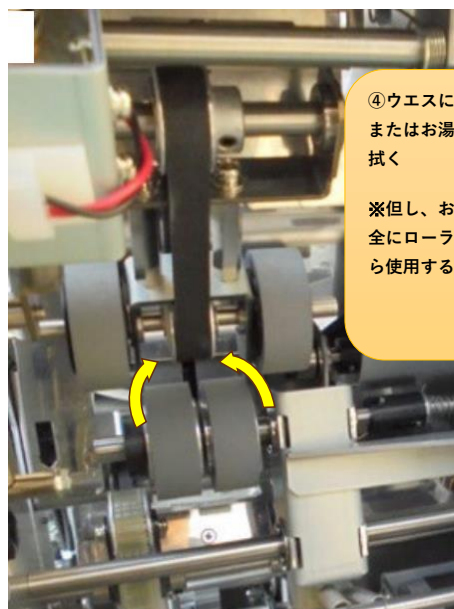
① 押えトレイを上引き、
下部カバーをはね上げる



② ローレットねじ4本を外し、
右カバーを外す



③ 各ローラー (6個) を手
で回しながら柔らかい布
(ウエス) などで拭く



④ ウエスにはアルコール
またはお湯などを付けて
拭く

※但し、お湯の場合は完
全にローラーが乾いてか
ら使用する

2) テスト/実処理を行って下さい

- ・直った → 実処理を続けて下さい
- ・直らない → 保守員が伺います(ローラー交換)

TX381Hにて
・引込不良
・センサエラー

等が発生する。

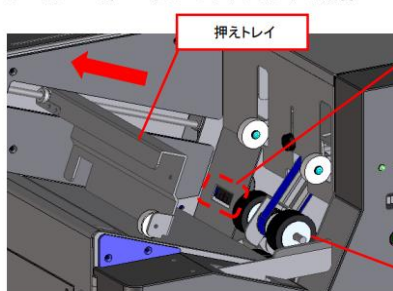
機器写真



手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) センサ清掃方法

● ホッパー部ローラとエンプティセンサの清掃



エンプティセンサ

ローラー清掃

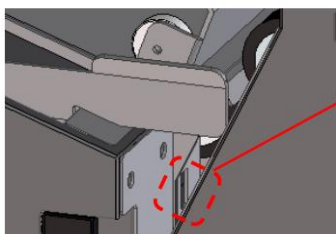
アルコールを湿らせたウエスでローラーの汚れを
ふき取る

エンプティセンサーの清掃

綿棒、エアダスターなどで掃除する

ローラ

● S1センサの清掃

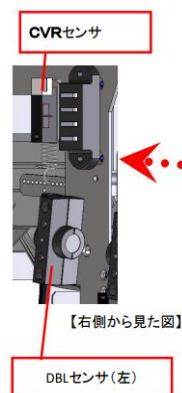


S1センサ

S1センサーの清掃

綿棒、エアダスターなどで掃除する

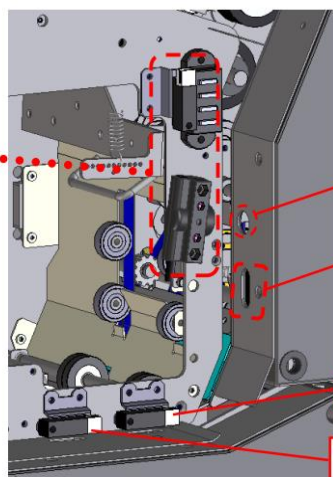
● 走行部のセンサの清掃



CVRセンサ

【右側から見た図】

DBLセンサ(左)



オープンカバーを開けて
センサー面を綿棒
エアダスターなどで掃除する

DBLセンサ(右)

S2センサ

S3センサ

S6センサ

下側の面を綿棒
エアダスターで清掃する

TX381Hにて

・S2エラー19 等が発生する。異音をとまうこともある。

機器写真



手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) フィードボタンを押す

① 異音が生ずる／エラーが出る →2)へ

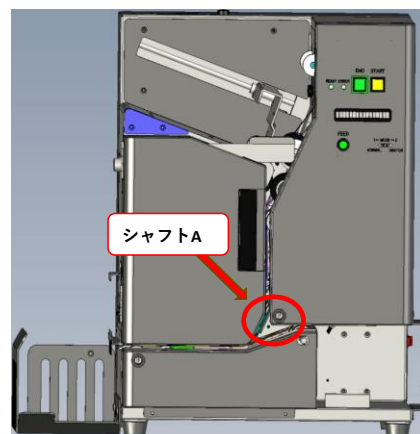
2) 用紙除去用ノブを使用する

① 用紙除去用ノブにて、シャフトAを回す

② 回転がスムーズになった

→直った可能性があります、テスト／実処理を行って下さい

回転がスムーズにならない・回転が重い →3)へ



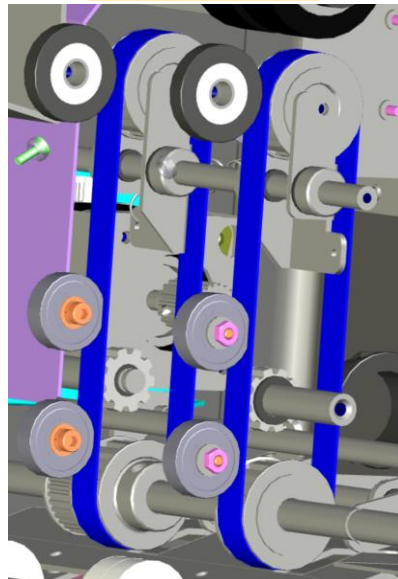
3) ベルトが外れていないか確認する

① 搬送ベルトが外れていた場合、ベルトをゆっくり回しながらプーリーに掛け直す

① ホッパーカバー、
オープンカバーを
開ける

② 搬送部ローラーブラケット
を開ける

搬送ベルトが正常に掛かっ
ているイメージ図

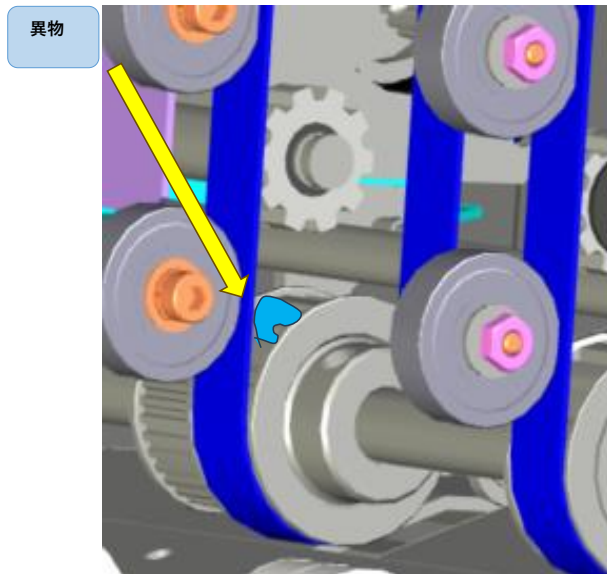
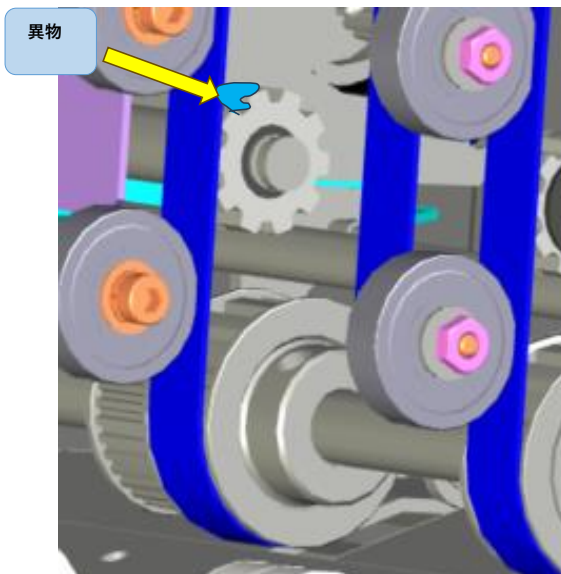


- ②ベルトがうまく掛けられない、狭くて見えづらい
→右側面カバーを開け、採光などをしてベルトを掛ける



- ③ベルトが外れていない →4)へ

- 4)ベルトやプーリーに紙片／粘着物が詰まっているか確認する



プーリーの間に紙片、粘着物などが挟まっているとベルトがうまく回らずに搬送エラーが発生するため、エラー多発の際は確認する

- 5)テスト／実処理を行って下さい

- ①回転がスムーズになった →直った可能性があります 実処理を行って下さい
②回転がスムーズにならない・回転が重い →保守員が伺います

TX381Hにて
・S2エラー18,19
・S6エラー39
・S7エラー46,48

等が発生する。異音をとまなうこともある。

機器写真



手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) フィードボタンを押す

① 異音が生ずる／エラーが出る →2)へ

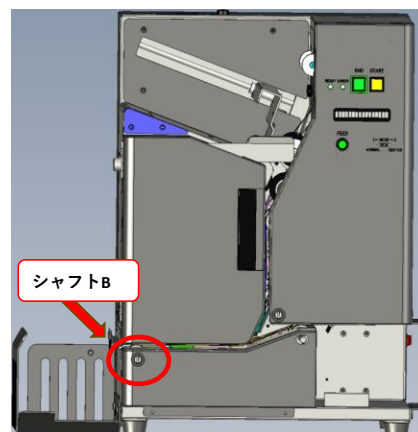
2) 用紙除去用ノブを使用する

① 用紙除去用ノブにて、シャフトBを回す

② 回転がスムーズになった

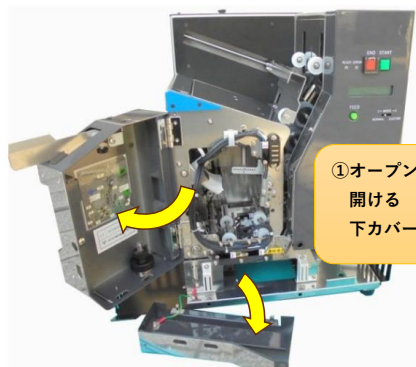
→直った可能性があります、テスト／実処理を行って下さい

回転がスムーズにならない・回転が重い →3)へ

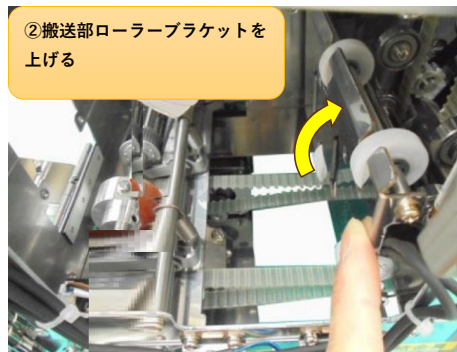


3) ベルトが外れていないか確認する

① 搬送ベルトが外れていた場合、ベルトをゆっくり回しながらプーリーに掛け直す



① オープンカバーを開ける
下カバーも外す



② 搬送部ローラーブラケットを上げる



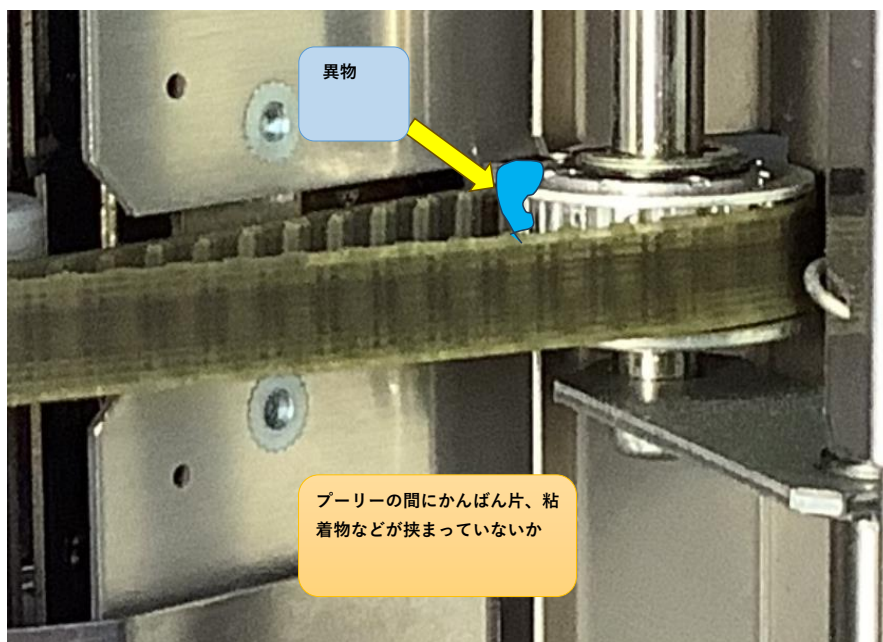
搬送ベルトが正常に掛かっているイメージ図

- ②ベルトがうまく掛けられない、狭くて見えづらい
→場所に余裕があれば機器を寝かせてベルトを掛ける



- ③ベルトが外れていない →4)へ

- 4)ベルトやプーリーに紙片／粘着物が詰まっていないか確認する



- 5)テスト／実処理を行って下さい

- ①回転がスムーズになった →直った可能性があります 実処理を行って下さい
②回転がスムーズにならない・回転が重い →保守員が伺います

TX381Hにて
・かんばんジャムエラー発生。
・搬送ベルトが外れない除去の方法

機器写真



手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください
1) フィードボタンを押す



かんばんが詰まった際
まずはSTARTスイッチ・FEEDボタンにて排出しますが
それでも搬送路に残ってしまう場合下記方法にて
かんばんを取り出してください

2) かんばんを引き出す(縦搬送)



横に引っ張り除去するとベルトが外れる恐れがあります。
ノブを使用して除去、または進行方向にゆっくり動かして
除去してください



シャフト



ノブ



①搬送部ローラーブラケットを開けて
シャフトAを回し、紙の駆動が切れる所
(紙が噛んでいない所) まで持って行きます



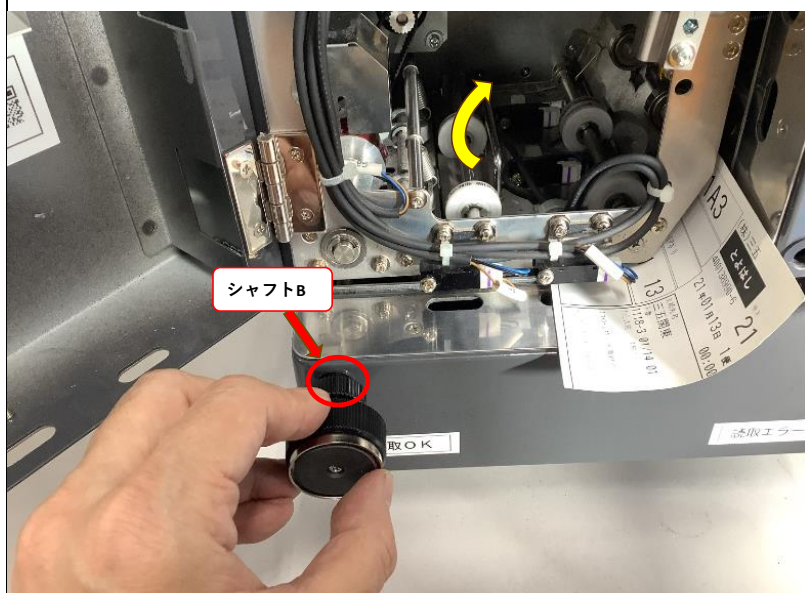
②ゆっくり紙を引き抜いてください。
駆動が切れていない所では
斜めにゆっくり引き抜きます



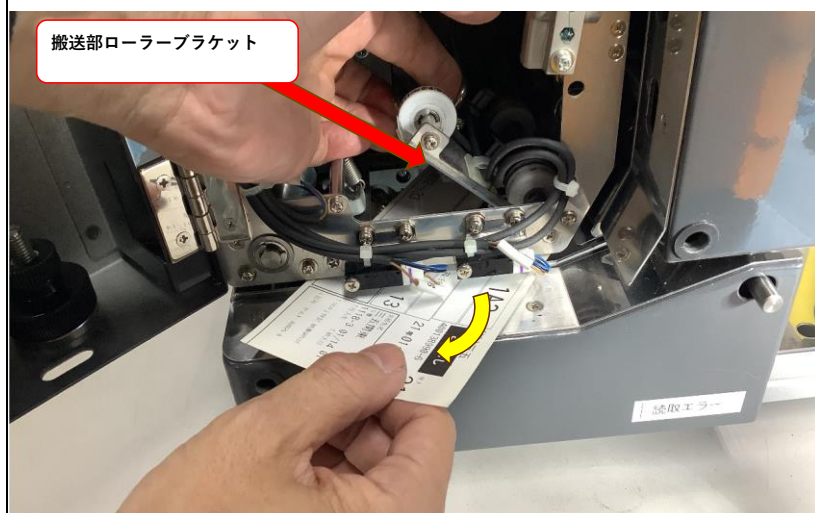
3) かんばんを引き出す(横搬送)



横に引っ張り除去するとベルトが外れる恐れがあります。
ノブを使用して除去、または進行方向にゆっくり動かして
除去してください



①搬送部ローラーブラケットを開けて
シャフトBを回し、紙の駆動が
切れる所（紙が噛んでいない所）
まで持って行きます



②ゆっくり紙を引き抜いてください。
駆動が切れていない所では
斜めにゆっくり引き抜きます

TX381Hにて
・引込不良(斜めになる)
・S2エラー
等が発生する。

機器写真

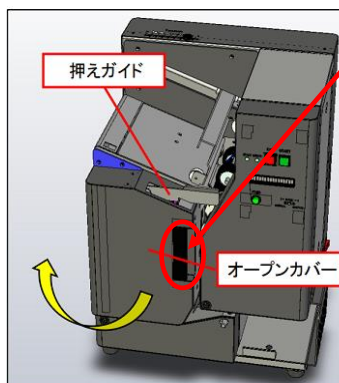


手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) ホッパー部 用紙ガイドをチェックする



① 押えガイド
の位置がずれていないか
確認

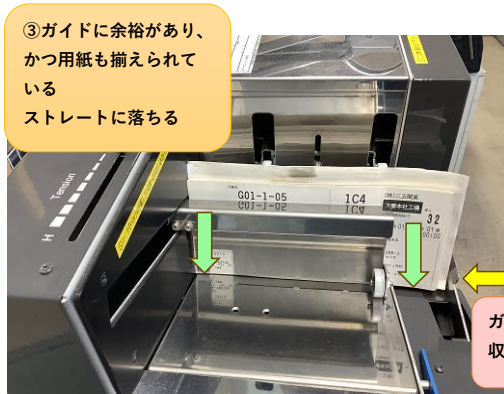
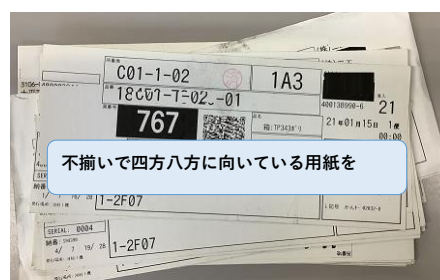


カバーを開ける際は押えガイドを
触らずに黒い部分をつかんで開閉してくだ
さい
※押さえガイドは変形や
位置ズレしやすい為
開閉の際触らないでください



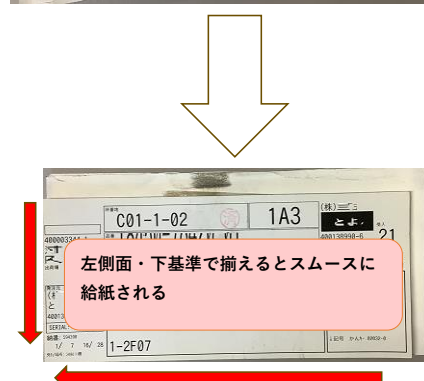
② ガイドが狭く
用紙が乗り上げている
斜め落ちになりやすい

押えガイドに
乗り上げている



③ ガイドに余裕があり、
かつ用紙も揃えられて
いる
ストレートに落ちる

ガイド内に
収まっている



2) テスト/実処理を行って下さい

- ・直った → 実処理を続けて下さい
- ・直らない → 保守員が伺います(ローラー交換)

TX381Hにて
・S3エラー-20
・S6エラー-38,39

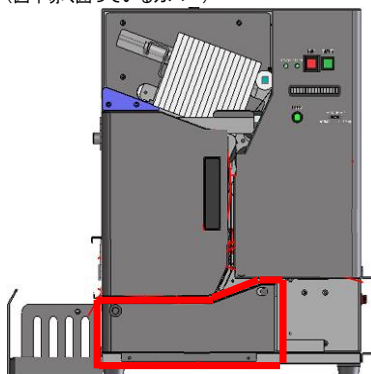
等が発生する。

機器写真



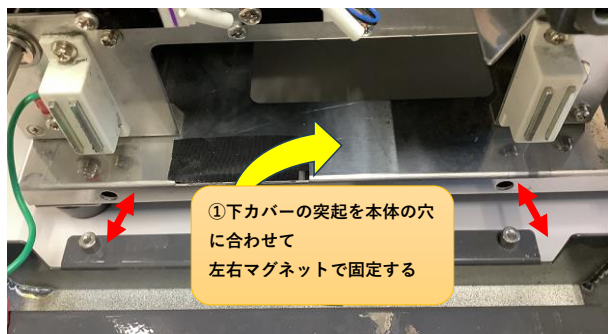
手順 ※保守員の指示に従い 下記手順を実施ください

1) 下カバーがずれていないか確認する
(図中赤く囲っているカバー)

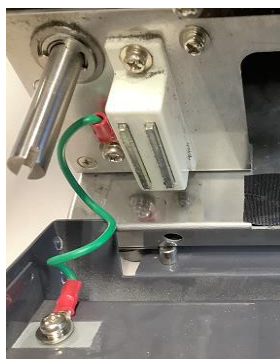


下カバーを手で触ってガタつきがない事

2) ずれていたら下カバーを再取付する



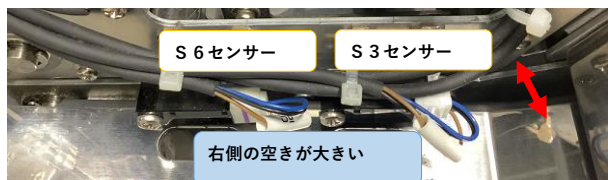
① 下カバーの突起を本体の穴に合わせて
左右マグネットで固定する



② 下カバーと本体を繋ぐアース線を
挟み込まない様に注意する

※アース線が挟まれていると
下カバーが浮いてしまい
センサーエラーが発生する

例: S3エラー-20の場合



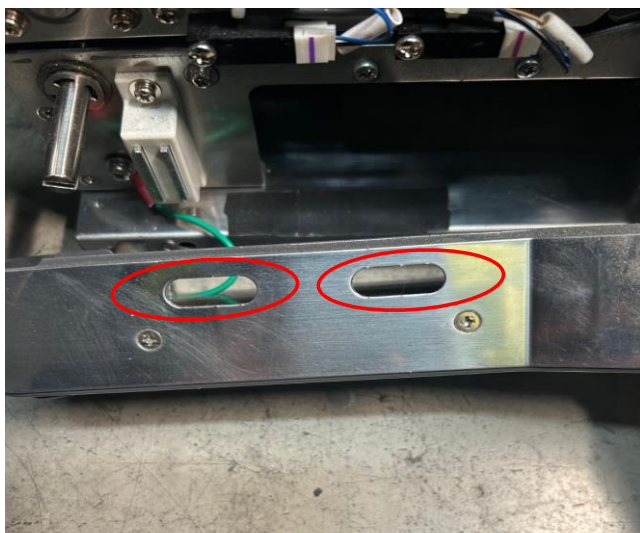
例: S6エラー-38の場合



例: S6エラー-39の場合 (S3エラー-20になる場合もある)



3) スリットに異物がないか確認する



カバーのスリットに紙片などの異物やノブが被さっていると
センサーエラーになる為、注意する

2) テスト／実処理を行って下さい

- ・直った →実処理を続けて下さい
- ・直らない →保守員が伺います